

広報ふたば



【表紙写真】

懐かしい仲間との再会。。。

(双葉町成人式)





平成31年 双葉町成人式

若さみなぎる

集いの灯 あかり

1月3日、いわきワシントンホテル椿山荘において平成31年双葉町成人式が挙行されました。

今年は70人(男子34人、女子36人)が晴れて成人を迎え、全国各地の避難先から38人が出席しました。

震災当時は小学6年生だった皆さんは「会場に着くまでは緊張したけれど、みんなに会いたかった」という方が多く、会場では再会を喜び合う姿が多く見られました。

全員で記念撮影を終えた後、式典は浦和フィルハーモニー管弦楽団の「栄光の架橋」の演奏で始まり、続いて管弦楽団の伴奏とコーラスふたばの皆さんの歌声に合わ



町長式辞

せ、国歌と双葉町民の歌の斉唱が行われました。

つぎに、新成人は1人ずつ呼名を受け、新成人を代表して石井輝さんと中井風佳さんが成人証書を受け取りました。

伊澤町長は式辞で「まちづくりには、多くの知恵や創意工夫を結集することが重要です。特に若い人材が必要になります。厳しい避難生活の中で多くの困難を乗り越え大きく成長された皆さんには、双葉町への関わりを持ち続けていただき、まちづくりにも参加していただくことを期待しております」と述べました。続いて、佐々木清一町議会議長、吉野正芳衆議



新成人を代表してお礼のことばを述べる
鈴木貴紀さん

院議員、増子輝彦参議院議員、森まさこ参議院議員、吉田栄光県議会議長、橋本徹県議会議員より祝辞をいただきました。

誓いのことばでは、新成人を代表して、柳瀬皇紀さんと中井彩さんが「成人を迎えた今、お世話になった双葉町や地域のために自分たちのできることで貢献していきたい気持ちでいっばいです。まだまだ、未熟な私たちですが、成人としての自覚と双葉町民としての誇りを決して忘れず、優しさで勇気を持って夢に向かい前へ進んでいくことをお約束して、誓いのことばといたします」と述べ、はたちの夢・希望では新成人を代表して官野和樹さんと高野華純さんがこれからの目標などを発表しました。

最後に、成人式実行委員長の鈴木貴紀さんが「皆さまからお祝いや激励のお言葉をいただきました。心から感謝申し上げます。新成人として生きていくことに対し、多くの希望と同時に不安もあります。少しでも早く社会の一員として認められるよう努力していきたいと思えます」とお礼のことばを述べました。



今年も日本伝統水引工芸スタジオの江坂冨水様から、男子には水引で作った赤いコサージュ、女子には水色やピンクなど、カラフルな帯飾りが贈られました。



成人証書授与



コーラスふたばの皆さんと双葉町民の歌の斉唱



誓いのことば



浦和フィルハーモニー管弦楽団の演奏
「栄光の架橋」「愛の挨拶」

新成人の生まれた年

(平成10年4月2日～平成11年4月1日)

<出来事>

- ・明石海峡大橋が開通
- ・金融システム改革法が可決、成立

<ヒット商品>

- ・iMac
- ・65円バーガー

<流行・流行語>

- ・キャミソールが街着として流行
- ・ハマの大魔神



夢・希望



『成人になるにあたって』

成人になるにあたって、20年という年月が長いようで短いような不思議な感じがしています。成人になるということは、守られている立場から自立し、責任ある行動をすることが求められます。

私の好きな言葉に、「人生とは自転車のようなものだ、倒れないためには走らなければならない」という言葉があります。私たちは小学6年生のときに震災を経験し、色々な悲しい思いをしました。どうすればいいかも分からず、立ち止まりそうになったときに、この言葉が助けてくれました。そしてこの言葉は、これからの人生にも、勇気を与えてくれると思います。私はまだ学生ですが、これからぶつかるであろう色々な壁も、立ち止まらず、乗り越えていきたいです。

最後に、今まで支え、見守ってくれた多くの方々に、感謝いたします。そして、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



官野 和樹さん
(下条)



笑顔で再会 ～新成人～



新成人の皆さんは同級生と約8年ぶりに再会し、最初は緊張している様子が見られたものの仲間を見つけるとすぐに笑顔でかけより仲良く語り合っていました。皆さんの凛々しいスーツ姿や袴姿、晴れ着姿の写真です。



はたちの



高野 華純さん
(長塚一)

『今のわたし』
震災後、私には薬剤師になるという夢ができました。そして今、県外の大学で薬剤師になるための勉強をしています。実習が続き、大変なこともあります。充実した大学生活を送っています。私は生まれ育った福島県で福島の人役に立ちたいので、卒業後は福島県で薬剤師として働きたいと考えています。

また、私はダンスサークルに所属し、学祭などでダンスを披露しています。このサークルを通して、様々な方と接し多くの刺激を受けました。この経験を活かして、立派な大人そして薬剤師になれるよう精進します。

最後に、大学入学とともに、私は一人暮らしを始めました。一人暮らしをしてから家事の全てを自分でして、親の大変さを身をもって感じたので、両親には感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ両親にはたくさん迷惑をかけてしまうと思いますが、薬剤師になったら親孝行をしていきたいです。



小学校の恩師から、小学生時代の名札を受け取りました。



新成人へのメッセージ

双葉町の再生に向けた 若い人材の必要性

双葉町長 伊澤 史朗

晴れて成人式を迎えられました70名の皆さま、ご成人誠におめでとうございます。

多くの夢と希望に満ち、洋々たる新成人の皆さまに対し、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

また、皆さまをこれまで深い愛情をもって、健やかに育まれてきた保護者の方やご家族の皆さまに対して、お祝いと深甚なる敬意を表する次第です。

月日の経過は早いもので東日本大震災の発生から7年9カ月が過ぎ、ふると双葉町を離れてから8回目の成人式を迎えました。このたびの成人式は平成最後の成人式となり、今年5月からは新しい元号がスタートする節目の年となります。成人式を迎えられた皆さまは、東日本大震災の発生当時、小学6年生でした。皆さまが過ごした双葉南小学校・北小学校は、今もなお震災発災時の状況がそのまま残されています。机の上に置かれたランドセルや体操着、下駄箱に残されたままの運動靴を見るたびに当時の混乱した状況などが思い出され、皆さまの不安がどれほどのものだったか想像するとき、震

災さえなければと残念に思うとともに、成長された皆さまのたくましさに敬意を表します。

さて、皆さまにとっての「ふるさと双葉町」はどのようなものでしょうか。昨年は双葉町が復興の具現化に動き出した1年となりました。「双葉町・特定復興再生拠点」として位置づけられた区域では90haの除染・建物解体が進み、今後も復旧・復興に向けた取組みが進められることとなります。「働く拠点」として位置づけている中野地区復興産業拠点は、平成30年度以降に一部供用開始に向け町内事業者の事業再開など「新しい産業・雇用の場」として整備を進めます。平成32年（2020年）春には常磐自動車道の復興インターチェンジ供用が予定されるほか、JR常磐線の全線開通及びJR双葉駅舎の橋上化、東西自由通路の供用が予定され、町への人の流れが創出されます。それに合わせて避難指示解除準備区域と駅周辺の一部区域の避難指示解除を目指します。また、平成32年（2020年）には中野地区にアーカイブ拠点施設や産業交流センター、復興祈念公園（一部供用）の施設整備を目標としており、情報発信の拠点整備等による町内交流人口の拡大を目指します。そして、平成34年

（2022年）春頃までに特定復興再生拠点全域の避難指示解除を目指します。

このように、町の復興・再生に向けて着実に事業を進めますが、今後のまちづくりには、多くの知恵・創意・工夫が必要になります。そして、町を再生し持続させるには、特に「若い人材」が必要になります。是非、皆さまには、このまちづくりに積極的に参加していただき、皆さまが誇れる自然豊かで歴史・文化が薫る「ふるさと双葉町」の再生に向けて大きな役割を担っていただければと思います。学生生活や社会人生活を過ごされ多忙な日々を送られていることと思いますが、双葉町への関わりを持続続けていただくことを期待します。

最後に、皆さまは厳しい避難生活の中で多くの苦難を乗り越え、大きく成長されました。ご家族やご友人の支えもあったと思います。これまでの経験を糧に、明るい未来を切り拓いて大きく羽ばたいてください。

皆さまのますますのご活躍とご健勝をお祈りし、メッセージといたします。

意志堅固

双葉町議会議長 佐々木 清一

新成人となられた「70名」の皆さまに対して、議会を代表して心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

東日本大震災・原子力発電所事故で、全町民が避難を強いられ、早や8年が過ぎようとしておりますが、今もなお全国41都道府県331の自治体で、辛く厳しい避難生活を送られております町民の皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

成人を迎えられた皆さまにとって平成23年3月11日は、小学校の卒業式を目前に、自身の勉学に、部活動にと、中学生として夢と希望に満ちた新しい生活をスタートさせる、大変多感な時期で、未曾有の大震災、さらに原発事故を体験されました。

この複合災害によってご家族と双葉町を離れ、生活環境も一変し、親しい友人とも別れ、これから夢と希望を抱いていたご自身は元より、ご家族の皆さまにおかれましては、避難先で、辛く大変な日々を過ごされたことを思うと、とても心が痛みます。

本日の成人式にご出席され、久しぶりに友人との再会、お互いの近況を話すなど、とても有意義なものになったのではないかと思っております。このような状況の中、立派に新成人となられました皆さまに對しまして、私から「意志堅固」という言葉をお送りいたします。

この言葉は「心に思いを決めたことを崩さず守ること 心に定まって決して変わらないこと」という意味があります。

これからの人生、進む道に不安など

を感じることもあるでしょう。そんな時に、この言葉を思い出してください。そして、これからの人生、力強く生き抜いてください。今は、残念ながらふるさと双葉町に戻ることはできません。しかし、現在町では、復旧・復興に向け、全力で取り組んでいるところであります。必ず双葉町に帰れるようになります。その時には、皆さまのお力を貸してください。一緒に双葉町を創って行きましょう。それまで自己研鑽を積まれるよう心から願っております。

一期一会

結びに、新成人を迎えられた皆さま一人ひとりの将来に希望が満ち溢れ、輝かしい人生になることを願うとともに、併せて、今後の御活躍をお祈り申し上げます。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫
晴れて成人式を迎えられました皆さまに、心よりお祝い申し上げます。
振り返れば、双葉町立双葉南小学校、そして双葉北小学校の学び舎で、それぞれの思い出をいっぱい詰め込んで仲間と共に卒業するはずだった皆さん。伝統ある双葉中学校への入学を楽しみに、勉強に部活動に多くの期待と希望を抱きながら中学校生活を思い描いていた皆さん。東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、通常の生活がまるで、タイムス

リップさせられたかのように、知らない土地での生活や、不安を抱えながら通った避難先での学校生活など、多くの困難を乗り越えられた皆さん。その陰には、家族の支えはもちろん、多くのひととの出会いや誠意ある支援と深い絆があったことも事実ではないでしょうか。久し振りに再会した仲間との親交を深め、成長した自分を振り返り、成人としての自覚と責任を胸に、精一杯の努力とチャレンジ精神を忘れず、この節目からの新たな人生を力強く歩んで欲しいと思います。

現在、双葉町も復興と新たな町づくりに向けて一歩一歩前に進んでおります。双葉町の豊かな自然を生かした新たな町づくりに、皆さんからの斬新なアイデアや未来志向の発想による企画が、必ずや実現出来ると期待しております。そのためには、人との出会いを大切に、感謝と思いやりを伝えながら、多くの事を学び、仲間との協働を軸に社会貢献に携わることが、更なる自分自身の成長に繋がると思っています。

『学ぶとは、素直になること。教えるとは、未来を語ること』というメッセージがあります。自分に素直に、そして前向きに学び、多くの仲間と切磋琢磨する事が、明るい未来を築く大きな力となると信じております。最後に、皆さまの前途に幸多からんことをご祈念申し上げ、成人のお祝いの言葉といたします。

『復興まちづくり若者アンケート調査』にご協力をお願いします！

10代～40代の皆さまのご意見をお聞かせください



ご協力の程
よろしく
お願いいた
します！

日頃より町復興の各施策に特段のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

双葉町では、町の復興に向けて町民の皆さまのご意見をいただきながら各施策の推進に取り組んでいますが、未来に向けた町の再興には、若い世代の皆さまのご意向・ご意見を踏まえた取組の推進が重要と考えています。

つきましては、若い世代の皆さまの現状や考えを把握するとともに、町へのご意見・ご要望をお伺いするため、「復興まちづくり若者アンケート調査」を実施いたします。



多くの方のご意見を伺いたいと考えています。
皆さまのお考えをお聞かせください。

- WEB（インターネット）による調査（無記名方式）です。
- 下記のURLにアクセス（又はQRコードを読み取り）してご回答ください。（パソコン・スマートフォンいずれも可）
- 対象：10代～40代の方で、双葉町民の方、双葉町に関わりのある方、双葉町の復興まちづくりに興味関心がある方

【復興まちづくり若者アンケート調査WEBページ】

<https://www.futaba-fukkou.jp/archives/2824>

ご多忙のところ恐縮ですが、何卒ご協力をお願いいたします。

平成31年2月20日（水）
までにご回答をお願いします



【問い合わせ先】

○双葉町 復興推進課 ☎ 0246-84-5203

町民の皆さまへ

平成最後の年となる新年を迎えてから早いもので1カ月が経ちました。

1月1日の元旦には、山田行政区の高野トク様がめでたく満百歳を迎えられ、白河市内で行われた賀寿式に出席してお祝いを申し上げます。

1月3日には、いわき市において平成31年双葉町成人式を挙行し、70人の新成人に成人証書を授与いたしました。今年新成人となられた皆さんは、東日本大震災発生当時、小学6年生でした。小学校の卒業式もできないまま避難となり、双葉中学校への入学も叶いませんでした。多感な時期に大変なご苦労があったことと思います。困難にも負けず、ご自身の努力やご家族の支えにより立派に成人された姿に改めて感動を覚えました。

また当日は賀詞交換会を開催し、吉野正芳前復興大臣をはじめ、増子輝彦参議院議員、森まさこ参議院議員、吉田栄光県議会議長、橋本徹県議会議員、佐々木清一町議会議長をはじめ町議会議員等、多くの方々にご出席いただきました。

1月4日の仕事始めには、町の復興と町民の皆さまのご健康とご多幸を祈願し、双葉ダルマに目入れを行いました。職員に対し、本年は町の復興を更に加速するため、復興に向けた取り組みを継続して実行し具現化すべく、各課連携のもと一丸

となつて取り組むよう訓示を行いました。

また同日、東京電力ホールディングス(株)小早川智明代表執行役社長がいわき事務所を訪問した際に双葉町としての要求書を手渡しました。要求書の主な内容としては、福島第一原子力発電所の廃炉関連、原子力損害賠償関係、双葉町の復旧・復興に向けた取り組みへの協力関係についてであり、特に原子力損害賠償については、他の被災地域と比較した時の双葉町の特殊な事情を十分認識し、被害実態に即した賠償を継続かつ確実に行う東京電力は国としっかりと協議し、改めて加害者としての責任を全うするように強く求めました。

1月12日、13日の両日には新春恒例の双葉町ダルマ市が、復興公営住宅勿来酒井団地内のイベント広場で盛大に開催されました。勿来酒井団地内での開催は初めてでしたが、両日とも天候にも恵まれ、奉納神楽や巨大ダルマ引き、町芸術文化団体連絡協議会による芸能発表などが行われ、県内外に避難されている町民の皆さんや地域住民の皆さんなど大勢の来場者で賑わいました。今年も夢ふたば人のご尽力により開催されたものであり、改めて感謝を申し上げ、今後も町民の皆さまの絆の維持や伝統の継承に対して町としてしっかりと支援していききたいと考えています。

双葉町長 伊澤 史朗

福島県知事が双葉町内を

視察しました

昨年12月17日、内堀雅雄福島県知事が東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により全町避難が続く町内の復興状況等の視察に訪れました。

初めに内堀知事は、避難指示解除準備区域内にある中野地区復興産業拠点を訪れ、伊澤史朗町長から企業立地の進捗状況や今後の整備方針等の説明を受けました。その後、特定復興再生拠点区域のJ

R常磐線双葉駅周辺を歩いて視察され、伊澤町長から町内の復興の状況や復興再生計画の概要等の説明を受けました。

視察を終えた内堀知事は「県が自治体の思いを我がこととして受け止め国等に対して訴えていき、安心して復興創生期間後も復興に対応できるように制度・財源を構築していくことが大切であると感じた」と述べられました。



▲中野地区復興産業拠点



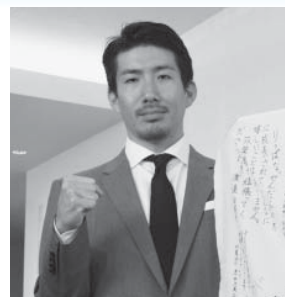
▲JR双葉駅周辺

*** 温かいご支援をありがとうございます ***

12月28日、自転車競技でオリンピック3大会連続出場を果たした渡邊一成選手から、双葉町ふたばっ子教育支援基金に多額の寄付金をいただきました。故郷である双葉町への恩返しがしたいと昨年に続き今年も寄付を申し出てくださいました。

渡邊選手は世界選手権への出場や、国内・海外での合宿への参加など、多忙な生活を送られているため、直接お会いして受け取ることはできませんでした。

いただいた寄付金は、渡邊選手の意向で双葉町の未来を担う子どもたちのために使わせていただきます。



東京電力へ原子力損害賠償の完全実施などを要求

1月4日、伊澤史朗町長が東京電力ホールディングス(株)小早川智明代表執行役社長に対し、福島第一原子力発電所の廃炉、原子力損害賠償の完全実施及び復旧・復興への協力に関する要求書を手渡しました。

特に、福島第一原子力発電所の廃炉関連の積極的かつ確実な情報発信の徹底や、長期避難を強いられることによる町民の精神的苦痛、生活費の増加費用等に対する賠償について、個別具体的な事情への対応を含め、これまでの町・町議会からの要求を踏まえ早急に対応することなどを強く求めました。



双葉町特定疾患患者見舞金支給事業のお知らせ

双葉町では、指定難病患者、小児慢性特定疾患患者の保護者及び人工透析療養者に対し、福祉の増進を図るため、見舞金を支給しております。

受給資格のある方は、双葉町に住所を有する本人または小児慢性特定疾患患者の場合、本人と生計を共にする保護者です。

見舞金の受給には申請が必要となりますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

健康福祉課 健康づくり係
☎ 0246-84-5205

生活サポート補助金(平成28年度分)の申請期限は平成31年3月31日です。

平成28年度分の生活サポート補助金について、補助金交付申請受付期間は平成31年3月31日までとなっております。平成31年4月1日以降は申請を受け付けることができませんので、まだ申請されていない世帯の皆さまにおかれましては、お早めに申請いただきますようお願いいたします。

平成28年度分の生活サポート補助金が未申請となっている避難先の世帯代表者には、昨年12月に黄色の封筒でお知らせをお送りしておりますので、必ずご確認いただきますようお願いいたします。

なお、申請についてお困りのことがありましたら、下記コールセンターへご連絡ください。

- ①「生活サポート補助金相談窓口」双葉町いわき事務所内での申請受付は、3月29日(金)午後5時までとなります。
- ②郵送での申請受付は、3月31日(日)までの消印有効です。

生活サポート補助金コールセンター

- フリーダイヤル：0120-280-707
- 受付時間：午前9時～午後6時
(土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く)

生活サポート補助金相談窓口

- 開設場所：双葉町 いわき事務所
住民生活課内
- 受付時間：午前8時30分～午後5時
(土・日・祝日、12月29日～1月3日を除く)

町県民税申告・所得税の相談

町県民税の申告は、平成31年度の町県民税を正しく算定する基礎となるほか、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の算定や各種福祉施策などの資料となるなど重要な手続きです。

町県民税申告受付と所得税の相談を下記の日程で行います。

申告期間中に町指定の会場に来られない方は、最寄りの税務署の申告会場をご利用ください。詳しくは左記「税務署からのお知らせ」をご覧ください。

申告受付日程 ※各会場とも午前9時から午後4時まで

日 時（土、日曜日を除く）	会 場
平成31年2月18日（月）～平成31年2月22日（金）	双葉町埼玉支所（加須市プラザきさい3階304会議室） ※支所（2階）の真上になります
平成31年2月25日（月）～平成31年3月 1日（金）	双葉町郡山支所（1階会議室）
平成31年3月 4日（月）～平成31年3月15日（金）	双葉町いわき事務所（1階中会議室）

申告対象者

平成31年1月1日現在、双葉町に住民登録されている方は原則的に所得の有無にかかわらず町県民税の申告をしなければなりません。申告が不要な場合もあります。

申告が不要な場合

1. 税務署で所得税の申告をされた場合
2. 給与収入のみで事業所の年末調整が済んでいる場合
3. 扶養家族となっている場合
4. 年金収入が400万円以下でその他の所得が20万円以下の場合

申告相談受付に必要なもの

【所得に関するもの】

- 給与や年金の収入がある方
：源泉徴収票・支払明細書など
- 事業・不動産所得がある方
：収入や経費がわかる各種帳簿及び領収書など
（収支内訳書を作成の上持参してください）
- 農業所得がある方
：農産物出荷証明書、収入や経費がわかる各種帳簿及び領収書
- 一時所得（生命保険満期返戻金など）・配当所得（株式の配当など）・就労不能損害がある方
：支払明細書など
- 雑所得（シルバー人材センター配分金・個人年金など）がある方：支払明細書など
- 譲渡所得（土地・家屋などの売買）がある方
：売買契約書・収用証明書など

【所得控除に関するもの】

- 社会保険料控除を受ける方
：平成30年中に支払った国民年金保険料などの証明書
- 生命保険料、地震保険料控除を受ける方
：控除証明書
- 医療費控除を受ける方
：領収書（受診者別に医療機関別にわけて支払額を計算し持参してください）、医療費を補てんする保険金等の明細書
- 障害者控除を受ける方
：身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳など
- 住宅借入金等特別控除を受ける方
：住民票の写し、登記事項証明書、売買契約書または請負契約書（家屋の取得年月日、床面積、取得価格を明らかにする書類）、住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書など

【その他】

- 印鑑（所得税の口座振替納付を希望される方は、金融機関名、口座番号、届出印鑑）
- 還付金振込先の金融機関及び口座番号（申告者名義のもの）のわかるもの（所得税が還付になる方の場合）
- 平成29年の確定申告から申告書にマイナンバーの記載が必要となりましたので、マイナンバーカードまたはご本人のマイナンバーが確認できる書類（通知カード等）及び記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類（運転免許証、公的医療保険の被保険者証等）の写しの添付が必要となりますので、忘れずにご持参ください。
- 税務署から事前に送付していた確定申告書等の用紙に代えて、「確定申告のお知らせ」が送付されますので、可能な限り記入の上、忘れずにご持参ください。

※平成30年中に合意等が成立した東京電力(株)から支払を受けた賠償金のうち、農業損害の減収分に対するもの、給与等の減収分に対する就労不能損害などは申告が必要となりますので、内訳等が記載された書類を必ずご持参ください。

※e-TAX（電子申告）でご自宅からお持ちのパソコン・タブレット・スマートフォンからの申告も可能となります（ただし、条件があります）。本誌折込の「e-TAXの利用手続について」をご参照の上、詳しくは各税務署にお問い合わせください。

※各会場とも来所された方を長時間お待たせしないため、必要書類がない、事前記入がされていないなどの場合に再度の来所をお願いする場合がありますので、なにとぞご了承をお願いいたします。

税務署からのお知らせ

各種申告手続、確定申告書等の用紙の請求、その他国税に関するご相談のある方は、福島県内をはじめ全国の税務署で受け付けております。

申告期間中（2月18日から3月15日）は、各税務署管内で別会場を設けていることが多く、事前予約を受け付けていないこともあります。長時間お待ちすることもありうるため、事前に最寄りの税務署にお問い合わせの上ご確認等お願いいたします。

福島県内の各税務署

税務署名	電話番号
相馬税務署	0244-36-3111
福島税務署	024-534-3121
会津若松税務署	0242-27-4311
郡山税務署	024-932-2041
いわき税務署	0246-23-2141

税務署名	電話番号
白河税務署	0248-22-7111
須賀川税務署	0248-75-2194
喜多方税務署	0241-24-5050
二本松税務署	0243-22-1192
田島税務署	0241-62-1230

確定申告の相談や申告に必要な書類などは、相馬税務署または町戸籍税務課までお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 相馬税務署 ☎ 0244-36-3111（音声案内に従い「0番」を選択してください）
戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204



寺内前霊園 申し込み受付中

昨年7月以降、すでに50区画余りの申し込みに加え、多くのお問い合わせをいただいております。

すでに墓石の建立を終えた区画では、墓参する家族の姿も見られるようになってまいりました。

お墓の建立に関して疑問や困りごとがある場合はぜひ一度、お問い合わせください。



寺内前霊園に父と母のお墓を造りたいけど今も避難先だし、相談できる人もいないわ。何とかならないかしら。



双葉町内の石材店は次のとおりです（掲載：アイウエオ順）

(株)澤上石材工業
0246-38-3895

(株)白石石材店
0246-85-5371

(有)高野石材工業
090-3124-1275

宗像石材工業
090-7560-4232

※寺内前霊園への立入りにはゲート通過のため立入許可が必要です。
※墓地でのお線香等、火気の使用は控え願います。

【問い合わせ先】 住民生活課 ☎ 0246-84-5206

東日本大震災双葉町追悼式のお知らせ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた方々を追悼するため追悼式を開催いたします。

・日時：3月11日（月）
開場 … 午後1時30分
開式 … 午後2時30分

・場所：ライフケア勿来会堂（いわき市勿来町四沢江代田15）
・対象：東日本大震災により亡くなられた方、発災以降、避難中に亡くなられた方々のご遺族。
・内容：黙とう、町長式辞、追悼の辞、献花

【問い合わせ先】 住民生活課 住民支援係 ☎ 0246-84-5206

日本年金機構からのお知らせ

平成30年分 公的年金等の源泉徴収票の発行について ～ 確定申告まで大切に保管ください ～

平成30年中に厚生年金・国民年金等の老齢または退職を事由とする年金を受け取られた皆さまに、平成30年分として支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額等をお知らせする「平成30年分公的年金等の源泉徴収票」(ハガキ)が日本年金機構から、平成31年1月中旬以降に順次送付されています。源泉徴収票は、確定申告の際に必要な書類となりますので、大切に保管してください。

【問い合わせ先】

ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165
※050で始まる電話でおかけになる場合は、
☎03-6700-1165へおかけください。

お問い合わせの際には、基礎年金番号等をお知らせください。
※電話による源泉徴収票の再交付を希望される場合は、発送まで2週間程度かかりますので、お急ぎの方は、最寄りの年金事務所へご相談ください。

＜受付時間＞

- ・月曜日 (午後8時30分～午後7時)
- ・火～金曜日 (午後8時30分～午後5時15分)
- ・第2土曜日 (午後9時～午後4時)

※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後7時まで受け付けします。
※祝日(第2土曜日を除く)は、ご利用いただけません。

国民年金保険料の納付は口座振替が便利でお得です

国民年金保険料を口座振替にすると、金融機関等に行く手間と時間が省けるうえ、納め忘れがなくなり大変便利です。

また、当月分保険料を当月末に引き落とすことにより、月々50円割引される早割や、6ヶ月分、1年分、2年分をまとめて前納するとさらにお得になります。

口座振替をご希望される方には申請書を送付させていただきますので、下記までご連絡ください。前納の申込み期限は2月末まで(6ヶ月前納の場合は2月末、8月末)となりますのでお早めにお手続きください。

【平成30年度の場合】(参考)

	現金で納付した場合	口座振替した場合	年間割引
1カ月	16,340円	16,290円(当月末振替)	600円(50円×12月)
6カ月	98,040円	96,930円(5月1日、10月末に一括引き落とし)	2,220円
1年	196,080円	191,970円(5月1日に一括引き落とし)	4,110円
2年	393,000円	377,350円(5月1日に一括引き落とし)	15,650円(2年分)

※保険料額、割引額は平成30年度額で計算しておりますので、目安としてお考えください。

※平成31年度の保険料額、割引額は、平成31年2月下旬に日本年金機構ホームページにて告示される予定です。

※前納による納付済期間に厚生年金に加入した場合、未経過の期間にかかる納付済の国民年金保険料は、還付することができます。

【問い合わせ先】 健康福祉課 国保年金係 ☎0246-84-5205

◆ 賀寿の祝い ◆

満百歳おめでとうございます

1月1日、高野トクさん(山田)がめでたく満百歳を迎えられ、避難先の白河市内にある鹿島ガーデンヴィラにおいて、ご家族、ご親戚の方々が見守る中、賀寿式が行われました。

初めに長寿をお祝いして賀寿と敬老祝金が伊澤史朗町長から贈られ、続いて福島県知事からの賀寿と会津塗りの木杯、内閣総理大臣からの長寿祝が伝達されました。

続いて、釘野雄一町老人クラブ連合会副会長から賀寿と記念品が贈られました。

伊澤町長は「トク様は若いころからとても働き者であり、大熊町から嫁いで来られるまで農作業が未経験であったにもかかわらず、農業はじめ林業や養蚕業も手掛けられ、お正月からの炭づくりや徹夜で蚕の孵化、急傾斜地での馬車ひきなど、人が休んでいる時間や厳しい環境であつ



ても、家族を支えるために一生懸命働かれていたとお聞きします。トク様のお仕事に向き合う姿勢とご努力は、身近で見えていたご家族がとても真似できないと感じるほどであり、お話を伝え聞いただけでも敬服いたします。心身の健康意識を高く持たれ、日々努力を積み上げてこられたことが長寿につながっていると拝察いたします。今後も後進のために、ご指導を賜りますようお願い申し上げます」とお祝いの言葉を述べました。

続いて、佐々木清一町議会議長がお祝いの言葉を述べ、賀寿を祝いました。

記念品の贈呈では次男である雅彦さん、孫の神田裕子さんから記念品が贈られ、花束

贈呈では孫の高野義久さん、高野忠則さん、高野和彦さん、とひ孫の皆さんから花束が贈られ、トクさんはうれしそうに受け取りました。

最後に長男の芳彦さんがあいさつの中でトクさんが賀寿を迎えられたことは家族にとつて大変うれしいことであると話されました。

トクさんは食事は好き嫌がなく、記憶力がとてもよく親族の出身や嫁ぎ先などをよく覚えていられることです。

新春 賀詞交換会



1月3日、成人式終了後、いわきワシントンホテル椿山荘において賀詞交換会が開催され、町議会議員、行政区長、各種委員、学校関係者など約50人が出席しました。

初めに、伊澤史朗町長が「昨年は県営復興公営住宅勿来酒井団地の入居が開始され、双葉郡立勿来診療所、高齢者等福祉施設、商業施設等の生活関連施設も完成したことや、JR常磐線双葉駅東西自由通路及び橋上駅舎の建設の着手、中野地区復興産業拠点に立地する企業との立地協定締結、復興シンボル軸整備の起工などが行なわれたことから、双葉町の復興の具現化に向かって大きく動き出した1年であったと振り返り「平成の元号の最後の年になる平成31年は、お集まり



の皆さまに、より復興が実感いただけるような年になるよう、職員一同、力を合わせ邁進していく所存であります」とあいさつしました。

続いて、佐々木清一町議会議長、吉野正芳衆議院議員、増子輝彦参議院議員、森まさこ参議院議員、吉田栄光県議会議長、橋本徹県議会議員よりあいさつをいいただき、伊藤哲雄町商工会長の音頭により乾杯し懇談に入りました。懇談中は各テーブルで新年のあいさつを交わしながら新年の話題で盛り上がり、和やかに進行しました。

懇談の最後に館下明夫教育長の発声により、参会の皆さまのご健勝を祈り、双葉町にとつて明るい話題の多い年になるようお願いを込めて手締めを行いました。

— 夢ふたば! 明日に踏み出せ!! in 勿来 — 双葉町ダルマ市

1月12日、13日の両日、江戸時代から続くといわれる恒例の双葉町ダルマ市がいわき市にある県営復興公営住宅勿来酒井団地内イベント広場で行われました。夢ふたば人(中谷祥久会長)の主催で「震災前に毎年行われていたダルマ市を継続することによって、双葉町民の絆の維持を図りたい」との趣旨で開催されました。

J A福島さくら女性部双葉支部の皆さんが絵付けした双葉ダルマの出店はダルマを買い求める多くの方で賑わっていました。双葉町にゆかりのある若者でつくる「ぐるぐるユニット」では今年もよっちゃんスルメの販売が行われ、双葉町と友好町である京丹波町と関西大学の学生による来場者が双葉ダルマの折り紙を折るブースも設けられました。町商工会や町民の方の出店、ブースも立ち並び、屋外のイベントということではい

き・まごころ双葉会のけんちゃん汁や、かながわ避難者と共にあゆむ会の温かい飲み物の出店は来場者の方に大変喜ばれていました。

12日は安全祈願祭の後、震災後のダルマ市では初披露となる三字芸能保存会による奉納神楽が行われ、開会式では夢ふたば人の中谷会長が「勿来酒井団地の皆さまや近隣の皆さまのご理

解・ご協力があつて開催することができました。皆さんと一緒に楽しみ、双葉町に帰るまで続けたいと思います」とあいさつを述べました。続いてふたばっ子の元気な掛け声が会場に響いた子供神楽、巨大ダルマ引きが行われました。

13日は、双葉町民俗芸能発表会と第29回双葉町芸能発表会、ダルマ神輿が行われました。真冬の青空のもと、さらし姿の消防団第2分団の皆さんが威勢のよい掛け声で、出店者の皆さんの商売繁盛、住人や来場者の皆さんの家内安全、双葉町内の復興や厄除けなどを祈願して会場内を練り歩きました。2日目は福島市、郡山市、白河市、加須市、つくば市から町観光協会の見学者送迎バスが運行されたこともあり、より多くの来場者で賑わいました。

両日も好天に恵まれ、近隣の住人の方を含め多くの来場者で賑わった今年の双葉町ダルマ市は、夢ふたば人の皆さんの万歳三唱で幕を閉じました。



中谷祥久
夢ふたば人会長

////// ダルマ市ではこんな出店、ブースがありました //////////////////



▲ 双葉町商工会青年部
双葉町商工会では、女性部、青年部、工業部会からの出店がありました。



▲ いわき・まごころ双葉会と
かながわ避難者と共にあゆむ会



▲ 京丹波町・関西大学による折り紙の
双葉ダルマ作りブース



町民の出店、ブースもありました



J A福島さくら女性部双葉支部



ダルマ市1日目の様子(12日)



安全祈願祭



双葉町民俗芸能発表会

奉納神楽(三字の神楽)～三字芸能保存会～



子供樽神興



巨大ダルマ引き



北が勝てば豊年満作、南が勝てば商売繁盛とされています。今年は2勝1敗で南に軍配が上がりました。



参加者にはミニダルマがプレゼントされました

ダルマ市2日目の様子(13日)

双葉町民俗芸能発表会



渋川の神楽 ～渋川芸能保存会～



前沢女宝財踊り ～前沢女宝財踊り保存会～



相馬流れ山踊り ～双葉町相馬流れ山踊り保存会～



ダルマ神輿



第29回双葉町芸能発表会

2日目の民俗芸能発表会と芸能発表会は多くの来場者の注目を集め、ステージ前の座席はほぼ満席となりました。



標葉せんどん太鼓保存会

▲「いなずま」「夏」



コーラスふたば

▲「双葉町民の歌」
唱歌メドレー「ふるさとの四季」



双葉町民謡同好会

▲「花笠音頭」「三味線合奏（津軽甚句・相馬盆歌）」「常磐炭坑節」



JAスマイル大正琴

▲「一月一日」「さくらさくら」
「野口雨情詩集3曲メドレー」
「八木節」

来場者の笑顔



若幸流やよい会 若幸華三夜

▲「二輪草」「義経残照」



来場者の皆さんも一緒にふたば音頭を踊りました

三字行政区からのお知らせ

平成30年度の総会・交流会を下記のとおり開催しますので、お誘い合わせのうえ多くのご参加をお願いいたします。

日時：3月24日(日)～25日(月)
1泊2日

受付……午後2時から

総会……午後3時から

※環境省からの「除染・家屋解体工事について」の説明を予定しております。

※総会終了後、三字芸能保存会による神楽のお披露目を予定しています。

交流会……午後6時から

場所：湯本温泉「吹の湯」
いわき市常磐湯本町吹谷48

☎0246-42-2158

会費：1人 10,000円

申込締切：3月3日(日)

【申し込み・問い合わせ先】

・伊澤 和夫 ☎090-2989-3818

・佐藤八州夫 ☎090-1493-1545

・山口 清一 ☎090-8784-6797

3月10日・11日は、Jヴィレッジで3.11追悼イベント ～ SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA 311 ～

東日本大震災追悼復興祈念イベントを、今年はJヴィレッジで開催します。

特設ステージでのアーティストライブや飲食ブースの出展、大道芸やキャンドルナイトなどの催し物を行います。申込不要、入場無料ですので、皆さま、どうぞお越しください。

と き 平成31年3月10日(日) 11:00～20:00
11日(月) 12:00～20:00

ところ Jヴィレッジ **参加費** 無料(申込不要)

【問い合わせ先】 福島県相双地方振興局復興支援・地域連携室
☎0244-26-1115

相双地方振興局 [検索](#)

チェックしましょう！ 福島県最低賃金

福島県最低賃金

	最低賃金額(時間額)	効力発生日
福島県最低賃金	772円	平成30年10月1日

福島県特定(産業別)最低賃金

業種(日本標準産業分類)	最低賃金額(時間額)	発効日
計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	849円	平成30年12月15日
自動車小売業 (二輪自動車小売業(原動機付き自転車を含む)を除く)	848円	平成30年12月21日
非鉄金属製造業	847円 (据え置き)	平成29年12月16日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 (医療用計測機器製造業(心電計製造業を除く)を除く)	815円	平成30年12月19日
輸送用機械器具製造業	851円	平成30年12月14日

※詳しくは、福島労働局賃金室(電話024-536-4604)または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

自動車の登録・検査 の手続きはお早めに

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。

名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きは2月中に行うなど、できるだけ早めに済ませていただくようお願いいたします。



【問い合わせ先】 東北運輸局福島運輸支局
(福島市吉倉字吉田54)

登録・検査関係
☎050-5540-2015

県立テクノアカデミー浜 追加募集

『福島県立テクノアカデミー浜』では、平成31年4月入学生を募集します。

1、追加募集科

- (1) 短期大学校 ①計測制御工学科
(2) 能力開発校 ①機械技術科 ②建築科
※3次入学試験(1月18日実施)の結果により、追加募集がなくなる場合があります。

2、募集日程(平成31年)

4次入学試験

- ①出願期間 2月 4日(月)～2月8日(金)
②試験日 2月15日(金)
③合格発表 2月20日(水)

3、対象者

高等学校卒業後及び卒業見込みの者
※離職されている方や、転職を考えて再就職を目指したい方。また、職場に在籍しながら通学が認められている方も対象で、専門技術を身につける事を目的とします。

4、その他

平成31年度は授業料等が減免措置となり、入学検定料、入学金、授業料がすべて無料となります。
※対象者は、東日本大震災時に学費負担者が被災地(福島・宮城・岩手県全域)に居住されていた方

【問い合わせ先】 福島県立テクノアカデミー浜 ☎0244-26-1555 学生募集担当 藤田

募集人員や出願方法・入学試験の内容などの詳細は、本校ホームページをご覧ください。担当者
に直接お問い合わせください。

ホームページ

テクノアカデミー浜 入学希望の皆さまへ

検索



個人版私的整理ガイドラインのご案内(福島財務事務所)

東日本大震災により被害を受けられた方はガイドラインの利用で震災前からの住宅ローンなどが免除されます。※債務の免除には一定の要件がありますので、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 一般社団法人個人版私的整理ガイドライン運営委員会
コールセンター ☎0120-380-883 (受付時間：平日9時～17時)

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について(1月16日現在) 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

搬出市町村		搬入量m ³ (袋)※	搬出市町村		搬入量m ³ (袋)※
浜通り	双葉町	57,977	中通り	伊達市	23,377
	南相馬市	64,237		本宮市	11,003
	浪江町	47,160		桑折町	2,702
	葛尾村	55,657		国見町	6,948
	飯館村	37,522		川俣町	40,398
	福島市	12,346		大玉村	7,073
中通り	二本松市	24,943	計		391,343

※フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1m³と換算しています。

◇中間貯蔵情報センターについて

中間貯蔵施設全般についてお伝えする施設「中間貯蔵工事情報センター」が1月末、大熊町内に開所しました。入館は無料です。皆様のご来館をお待ちしています。

- 住所 大熊町大字小入野字向畑256(国道6号沿いの三角屋交差点付近)
- 開館日時 火～土曜の午前10時～午後4時(月曜が祝日の場合は開館し、翌火曜が休館)

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

- 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 調査設計課 ☎024-563-1293

生活習慣病の重症化を予防して脳卒中や心筋梗塞を起こさないようにしましょう

● 脳卒中・心筋梗塞の予防

- 脳卒中や心筋梗塞の予防には、生活習慣を改善して高血圧・糖尿病・高脂血症をコントロールすることが重要です。また、血圧値、血糖値、コレステロール値の数値を別々ではなく網羅的に管理することで、より効果的な予防効果が得られます。
- 急激な気温の変化が発作を誘発する恐れがあります。入浴の際は浴室や脱衣室の室温に注意してください。

● 生活習慣の改善：1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ

- 適度な運動をする（1日8000～9000歩）
- バランスのよい食事をとる

- 肥満を防ぐ
（腹囲男90cm、女85cm以下）

- 塩分・糖分・脂肪分を取り過ぎない（塩分は男8g、女7g以下）
- 野菜の摂取を増やす（1日350g）
- アルコールは適量を守る



- 今すぐにも禁煙することが重要
- ストレスを避け、規則正しい生活を送る

● 高血圧・糖尿病・高脂血症の早期発見のために、年1回健診を受ける



健康コラム「健康で長生き」はみんなの願い！

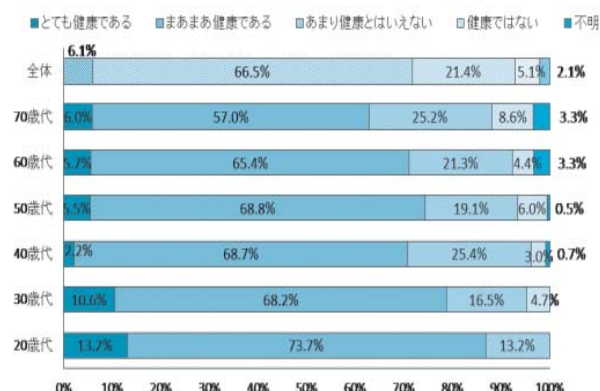
- 健康で長生きするためには、健康な生活習慣が大切なことですが、誰もが健康な生活習慣を身につけているわけではありません。生活習慣病（脳卒中・心筋梗塞・糖尿病など）は、日常の生活習慣が深く影響しており、老若男女を問いません。

現在、双葉町は国の「健康日本21」と、県の「健康ふくしま21計画」を受け、「健康ふたば21計画」を策定（H30年3月）し、「生活習慣病の発症予防と重症化予防」に積極的に取り組んでいます。

生活習慣病は、運動や食事、喫煙、睡眠等の日常の生活習慣を改善することで予防できます。若いうちから、健康的な生活習慣を身につけ「一生の財産」を確保しましょう。

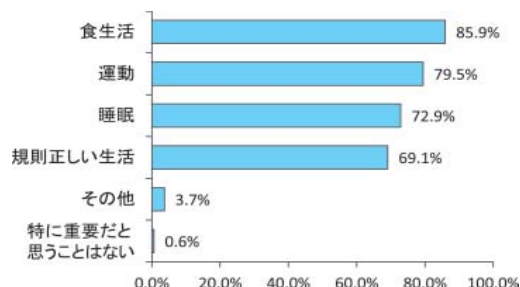
- 「健康ふたば21計画」策定時実施しました「健康づくりアンケート」において、以下の結果が得られております。（町公式ホームページ参照）

★あなたは、健康であると感じていますか？



- 全体では、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせて72.6%であった。
- 若い年代ほど、健康だと感じている方が多かった。

★健康を維持するために何が大切だと思いますか？



- 全体では、「食生活」85.9%、「運動」79.5%、「睡眠」72.9%、「規則正しい生活」69.1%、「特にない」0.6%であった。
- 多くの方が、健康維持のための重点事項を理解していると云える。

（「健康維持のために大切だと思う」各項目の年代別割合もまとめてありますので、町公式ホームページの「健康ふたば21計画」をご覧ください）

平成30年度県民健康調査 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」のご案内

福島県立医科大学では、住民の方の「こころ」や「からだ」の健康状態をおうかがいし、必要に応じて適切なケアや支援をさせていただくために、調査を実施しております。普段の生活では気づきにくい「こころ」や「からだ」の変化について、チェックできる機会にもなります。皆さまには積極的なご回答をお願い申し上げます。

なお、2019年8月末までにご回答いただいた方には、結果通知書をお返しします。

また、ご家族やご友人の方にご回答のご協力をお声がけいただければ幸いです。

対象者	平成30年4月1日現在住民登録のある方等
発送時期	平成31年2月15日頃より発送予定
回答方法	郵送またはオンライン（スマートフォン・パソコンによる）回答

【問い合わせ先】 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
 ☎ 024-549-5170
 9:00～17:00（12月29日～1月3日 土日祝日を除く）

双葉町社会福祉協議会

～ 2月健康運動教室、社協サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問い合わせ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
南東北総合卸センター2階第6会議室 （郡山市喜久田町卸1丁目1-1）	☎ 024-973-5291（開発）	毎週 水曜日	13:30～15:00
北幹線第二応急仮設住宅 集会所 （福島市飯坂町平野字内小原田8-1）		毎週 木曜日	

社協サロン（内容：健康体操、講話、相談、生きがいづくり、交流等）

※参加を希望される方は昼食準備のため、事前申込みをお願いします。

サンライフ福島 （福島市北矢野目字檀ノ腰6-16）	☎ 024-973-5291（開発）	2月 8日（金）	10:00～13:00
富岡町役場いわき支所 多目的集会施設 （いわき市平北白土字宮前8）	☎ 0246-84-6725（横田）	2月14日（木）	10:30～14:30

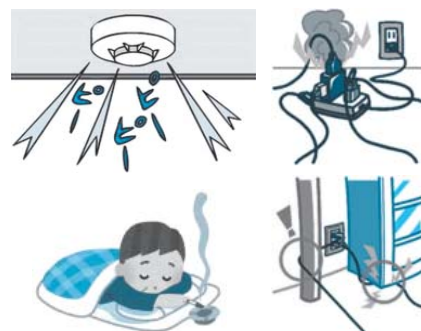
消防署からのお知らせ

火災予防を心がけましょう

この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。
火災予防を徹底しましょう！

■ 火災予防の3つのポイント

- ① 住宅用火災警報器を設置する。
- ② テーブルタップのたこ足配線や電源コードが家具などの下敷きになっていないか確認する。
- ③ 寝たばこは絶対にしない。



火気設備の取扱いに注意！！

家庭で使用する火気設備でも思わぬ火災の危険があります。使用の際には十分注意しましょう。

■ ストープ周辺は可燃物を置かない！

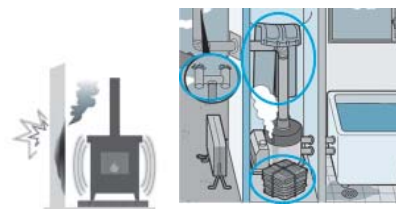
布団や衣類などの可燃物が触れなくても、距離が近いと、輻射熱で発火する恐れがあります。
また、ストーブは消してから就寝しましょう。



■ 煙突や低温着火にご注意を！

煙突の周囲に可燃物がないか確認しましょう。また、木材は、100℃程度の熱を長時間にわたって受けると、熱の蓄積が進み発火する危険があります。（低温着火）

室内だけでなく、屋外の火気設備も確認しましょう。



< 消防署連絡先 > ◆ 浪江消防署 ☎ 0240-34-4111 ◆ 富岡消防署 ☎ 0240-22-2119

盆唄 A SONG FROM HOME (ドキュメンタリー映画)

2月15日(金)よりロードショー

震災により長引く避難で存続の危機にある、故郷・福島県双葉町の伝統「盆唄」。しかし、生きる土地が変わっても、100年以上福島の盆唄を唄い継ぐ人々がハワイにいた。

出演：福島県双葉町の皆さん、マウイ太鼓 ほか

2月15日(金)より

テアトル新宿 ☎ (03) 3352-1846

フォーラム福島 ☎ 024 (533) 1717

まちぽれいわき ☎ 0246 (22) 3394

ほか全国順次公開

鑑賞券などの詳しい情報は

映画盆唄

検索



標葉せんだん太鼓保存会
横山久勝会長と今泉春雄副会長

双葉の風がより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します



【文芸】

俳句○冬至風呂 柚子をかつつめ

沈みけり

俳句○佛間まで 朝陽さしこむ

冬陽かな

俳句○真新らし ブーツに降るゝ

六つの花

川柳○一年のご褒美神様が

温泉に招く

短歌○安達太良の 冠雪染めて

沈みゆく 明日も晴れるか

茜の空よ

今泉 禮子(長塚二)

○白雲を 茜に変えて 初日の出

○除夜の鐘 十二支の夫婦を 供に連れ

○八年目 古里の氏神 防護服

○霜枯れか 七草粥も 五目飯

○お年玉 受ける孫の手 頼もしや

○百歳の 俳句を詠みたや あと何歳

(夢想かな)

武内 恒雄(長塚二)

人のうごき12月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
わたなべ とうり 渡部 柊季	12月20日	篤史・美和子	新山
かなもり せな 金森 聖奈	12月21日	真宗・彩	長塚二
たかやま ふうか 高山 ふうか	12月23日	勇氣・ひかり	新山

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
羽山 フミイ	93	12月5日	細谷
和泉 英二	71	12月18日	三字
須山 満	76	12月18日	下条

双葉町民の避難状況 (平成30年12月31日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,076人
- ・福島県外に避難されている方 2,822人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

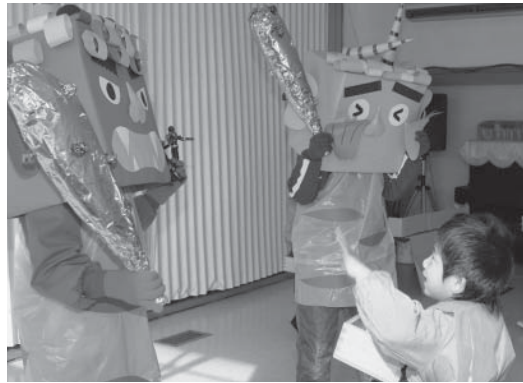
記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第70号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課
☎ 0246-84-5202



●避難先●



跡継ぎとして故郷に戻り

念願の神楽を復活

故郷に戻って以降、旧・目迫の青年会をはじめ三字芸能保存会など地域活動に参加しており、現在、同保存会の副会長です。同保存会では、神楽の太鼓や唄を担当し、前田稻荷神社初午祭での奉納や、新築祝の縁起担ぎなどで披露していました。避難以降、活動できない状態になっていましたが、NPO法人「民俗芸能を継承するふくしまの会」の支援を受け、獅子頭などを揃え、昨年秋季に富岡町で行われた「ふるさとの祭り2018」や、先月開催された双葉町ダルマ市で披露するなど、震災後約7年ぶりに復活させることができました。

地域の絆を維持するために

3年前から目迫の組長でしたが、今年度からは三字行政区長も務めています。3つの大字（前田・水沢・目迫）が集まり世帯数は多いですが、バラエティーにあふれ団結力のある地区でした。現在、全体で集まるのは年に一度の総会だけです。一人でも多くの方が長年培った地域の繋がりを大切にできるよう考えていきたいと思います。



しが みわ
志賀 美和さん

(三字)



●避難先●
福島県いわき市

双葉町で初めて触れる習慣

結婚により双葉町民となった頃、町内には、「古き良き」とでもいう習慣が残っており、それは、いわき市の比較的町場で育った者にとつて、驚きのように感じられたこともあり、特に、運動会等地区のイベントでは、当初「強制参加」という印象でしたが、今となつては、住民同士の信頼関係の上に成り立っていた「共生参加」だったと思います。

地域医療の節目を目前に被災

震災当時、双葉厚生病院に勤務して約20年、県立大野病院との統合を4月に控え、通常業務と共に統合準備プロジェクトにも関わるなど忙しい日々を送っていました。この統合は、より充実した地域医療体制の構築に向けた大きな一歩でした。特に、地域の悲願であった救急医療体制の整備は、私自身も注力した分野であり、震災によって道半ばとなつてしまったことは、とても残念でした。

避難指示が出されてからも緊急事態に対応するため家族と離れましたが、患者の移送を終え、無事、再会できました。その後、私たち一家はいわき市内に落ち着きましたが、双葉厚生病院で勤務再開となり、半年ほどの単身赴任生活も経験しました。

地域医療体制構築への再挑戦

家族のもとに戻り、福島労災病院に勤

務してから数年後、旧警戒区域内の復興に向け、双葉郡内における医療体制の整備が進められることになりました。そこで福島県が富岡町に「ふたば医療センター」設置準備室を設置し、人員の募集も行われました。震災で断念したことに再挑戦できるかもしれないと心を動かされ、労災病院を退職し、県職員（看護技能職）となりました。

開院まで1年というタイムリミットの中、準備室のスタッフ一丸となって様々な検討を重ねましたが、震災前とすっかり環境が変わってしまった地域で、どのような医療を提供できるのか、まるで大きな白紙の上に絵を描くような日々でした。

開院から間もなく1年

昨年4月に開院を迎え、現在、看護師長として勤務しています。「ふたば医療センター」では、郡内の医療機関や消防（救急）、福島県立医大附属病院等の高次医療機関と連携し、年中無休の二次救急医療をはじめ、在宅診療、訪問看護や在宅復帰支援等、地域のニーズに寄り添う医療等を提供しています。

診療開始から間もなく1年を迎えようとしている中、手探りのことも沢山ありますが、看護を通して故郷復興に少しでも役立てればと思い、日々の業務にあたっています。

食事処 りん 輪

おがわ たかひさ
代表 小川 貴永さん
(長塚二)



●避難先●
福島県いわき市



故郷への思いをカタチにするため

高校を卒業してから、進学や就職のため双葉町を離れ、十数年、東京で生活していました。都会での日々の中、いずれ故郷で家庭を持ち子育てをしたいと思っていました。34歳のとき、建設関係の仕事を辞め双葉町にUターンしました。

双葉町内に1.6haの農地を整備し、畑作、果樹栽培や養蜂などを始めました。私の場合、農産物を生産する一次産業だけでなく、加工・販売、農業体験や農家レストランなど、いわゆるグリーンツーリズムを含めた六次化産業を目指しており、震災当時、地元農産物や魚介類を活用したレストランの開店を平成23年6月に控え、店舗の建設など、その準備のため忙しい日々を送っていました。

突然の「ふるさと喪失」

長年の夢を具体的なカタチにする目途がついた矢先、原発事故によりその梯子^{はしご}を外されてしまいました。地震や津波で壊れたことであれば、どんなに大変でも再建しようと思いますが、地域全体の営みそのものが失われ「ふるさと喪失」となり、為す術がない状態になってしまいました。

避難直後、前向きな気持ちになれないだけでなく、時間だけが進む中、親をはじめ周囲にいる高齢者は体調を崩すようになる

など、「ふるさと喪失」はより深刻さを増していきました。

7年半を経て再起への一歩

昨年7月下旬、双葉町民が多く生活する復興公営住宅勿来酒井団地の仮設店舗にレストランをオープンさせました。遠く離れても故郷の誇りは決して忘れないという気持ちを含め、暖簾や店内には清戸迫横穴の壁画を模したデザインを描きました。

本心は双葉町をはじめとした地元産食材を使いたいところですが、それが叶わぬ中、復興に向け私たちと同じように頑張っている福島県内の農家が育てたものを最大限活用しています。

まず、飲食店からのスタートですが、現に向け進みつつある故郷での農業再開を見据え、農産物加工品の製造・販売について試行も続けたいと思います。



〒979-0142

いわき市勿来町酒井青柳14-4

【電話】 0246 (84) 9774

【営業時間】 ※定休日：水・日

(昼) 午前11:30～午後2:30

(夜) 午後 5:30～午後8:00

ぼくの夢・わたしの夢



双葉町立双葉南小学校 5年 ^{さいとう} 齊藤 にこさん (三字)

平成23年3月11日に起きた東日本大震災で、色んな人達に助けをもらい、はげましの言葉や人のやさしさにふれて、とても嬉しかったので感謝しています。

当時は、こわくてニュースなどを観ることが出来ませんでした。私も大きくなり震災のことをテレビで知り、アナウンサーになりたいと思うようになりました。私の通っている双葉南・北小学校には、色んなテレビ局の人達が取材に来ます。なんどもインタビューされているうちに、私も取材する側になりたいと思いました。私は、観ている人達が元気になれるようなアナウンサーになりたいです。

今月のベストスマイル



平成31年双葉町成人式後に行われた双葉南・北小学校の同級会で、左から吉田寛さん(新山)、井上勇さん(下条)、石川拓人さん(下条)の笑顔です。

編集後記

寒さの厳しい日が続いていますが、暦の上では立春を迎えようとしています。気候の面ではまだまだ春を感じることはできませんが、日が長くなってきていることにふと気づきました。

今月の表紙は、1月3日に行われた成人式の様子です。参加者の皆さんは仲間同士、スマートフォン等で写真を撮り合っていました。目を細めながらご家族の方がデジタルカメラ等で撮影している場面も多く見られました。新成人の皆さま、皆さまをこれまで育んでこられたご家族の皆さま、ご成人誠におめでとうございます。

1月12日、13日には新春恒例の双葉町ダルマ市が開催され、多くの町民の方に会場でお会いでき、皆さんが毎年恒例のダルマ市を楽しみにしている様子がうかがえました。ダルマ市自体を楽しんでいたことはもちろん、故郷で顔を合わせていた懐かしい方々との会話も楽しんでいたんじゃないでしょうか。「行けば皆さんに会える」ということも多くの方に会場だけの一因となっているのかもしれないですね。天候にも恵まれ、2日間とも多くの来場者の笑い声が賑わっていました。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20-2

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

○双葉町公式ホームページ
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

携帯サイト
<http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/>

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

○双葉町復興ポータルサイト
<http://www.futaba-fukkou.jp>

